

同和問題の解決に向けて

頭で知り、心で感じとり、そして日常の行動に生かしていきましょう。



同和問題(部落差別)とは？

同和地区(被差別部落)と呼ばれる地域の出身である、または今住んでいることを理由に、日常生活の中で差別を受けたり、結婚や就職の際に不利益を受けたりするなど、深刻かつ重大な人権問題のことをいいます。

「そっとしておけば、同和問題や差別はなくなる」という考えが、いまだに多く残っていますが、このような考え方は、同和問題に対する無知や、「同和地区は怖い」などという偏見を生み、差別を助長することにつながります。

同和問題(部落差別)の現実を知る 今でもこのような問題が起きています。

就職に関する差別(身元調査)



採用選考にあたり、本人に責任のない「本籍・出身地や住所」「家族関係や家族の職業」などを質問したり、また本人に無断でこれらを調査すること(身元調査)は、就職差別につながります。

インターネットへの書き込み



パソコンや携帯電話などを使ったインターネット上への「差別書き込み」が、大変深刻な問題となっています。インターネットの匿名性を悪用し、部落差別を助長する目的で具体的な地名や人名などを掲載、中傷するようなことは、決して許されることではなく、犯罪にもつながる行為です。

「えせ同和行為」に注意!

「えせ同和行為」とは、同和地区に対する「怖い」「やっかいだ」などの誤った意識を利用して、部落解放運動と関わりのない者が同和団体の名をかたり、同和問題に対する理解が足りないなどの言いがかりをつけて、高額な図書などの購入を強要したり、金銭の要求をしたりすることです。

「えせ同和行為」は、同和問題の解決をゆがめる、許されない行為です。

結婚に関する差別



同和地区出身の人との結婚を家族や親類に反対されたり、結婚前に相手に無断で身元調査を行うなどの事例が、今でも見受けられます。

結婚は本人同士の合意で成立するものですが、「家と家との結びつき」「人柄よりも家柄や血筋が大事」というような結婚に対する考え方が、今でも差別を生み出しているといえます。

その他にも

・差別的な言動 ・差別落書き
・えせ同和行為
などが発生しています

痛みを感じる・考える

相手の心に、悲しみや痛みを与えていませんか？
相手を思いやり、気持ちをくみ取ってみましょう。



就職や採用は、
**本人の仕事への適正や
能力で決められるべきだよ!**

結婚は
**ふたりの意思によるもので、
出身地や家柄で
決めることではないよね!**

インターネットなどへの差別書き込みは、
多くの人の心を傷つけ、差別を拡大する行為です。

差別につながる行為を、
自ら行わないことが大事だよ!



- 相手の出身地や家柄などではなく、その人自身の個性や人間性をみるのが大切です。
- 同和地区への偏見や、同和問題に対する無知は、差別につながるだけでなく、えせ同和行為につけこまれるもとにもなります。

そして、行動へ

- 人権・同和問題についての学習会や研修会に積極的に参加して、**正しい知識**を身につけましょう。
- うわさや偏見で他人を判断せず、**真実を確かめて**行動しましょう。
- えせ同和行為(物品の売込み等)に対しては、き然とした態度で「いません」「応じられません」と断りましょう。
- 同和問題や部落差別、えせ同和行為を見聞きしたら、速やかに通報・相談しましょう。(窓口については、後ろの9・10ページをご覧ください)